医学科教育学修プログラム 令和5年度 5年次

【米子地区授業時間】

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
八十八八八	. 6.40 10.10
2時限	:10:30 ~ 12:00
3時限	:13:00 ~ 14:30
4時限	:14:50 ~ 16:20
5時限	:16:40 ~ 18:10

1時限: 8:45 ~ 10:152時限:10:30 ~ 12:003時限:13:00 ~ 14:304時限:14:45 ~ 16:155時限:16:30 ~ 18:00

令和5年度 授業時間配当表(医学科5年次)

※()内の数字は週数を表す。

					5年前	前期					5年後期										
11	围 1限	22週	1週	2限	22週	1週	3限	22週	1週	4限	22週	1	1週 1限	14週	1週 2限	14週	1週	3限	14週 1	週 4限	14週
月	臨床実習 I (22)		₽	临床実習 I (22)			臨床実習 I (22)			臨床実習 I (22)		月	臨床実習 I(14)		臨床実習 I (14)			臨床実習 I (14)		臨床実習 I(14)	
火	臨床実習 I (22)		₽	臨床実習 Ⅰ (22)			臨床実習 I (22)			臨床実習 I (22)		火	臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)			臨床実習 I (14)		臨床実習 I(14)	
水	臨床実習 I (22)		₽	臨床実習 I (22)			臨床実習 I (22)			臨床実習 I(22)		水	臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)			臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)	
木	臨床実習 I (22)		₽	塩床実習 I (22)			臨床実習 I (22)			臨床実習 I(22)		木	臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)			臨床実習 I (14)		臨床実習 I(14)	
金	臨床実習 I (22)		₽	臨床実習 I (22)			臨床実習 I (22)			臨床実習 I (22)		金	臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)			臨床実習 I (14)		臨床実習 I (14)	

令和5年度•七曜表

(医学科5年次)

		Ē	ή		其	月		週
	日	月	火	水	木	金	土	数
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	1
4	9	10	11	12	13	14	15	2
+	16	17	18	19	20	21	22	3
	23	24	25	26	27	28	29	4
	30	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	5
5	14	15	16	17	18	19	20	6
J	21	22	23	24	25	26	27	7
	28	29	30	31	1	2	3	8
	4	5	6	7	8	9	10	9
6	11	12	13	14	15	16	17	10
ľ	18	19	20	21	22	23	24	11
	25	26	27	28	29	30	1	12
	2	3	4	5	6	7	8	13
	9	10	11	12	13	14	15	14
7	16	17	18	19	20	21	22	15
	23	24	25	26	27	28	29	16
	30	31	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
8	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	17
	27	28	29	30	31	1	2	18
	3	4	5	6	7	8	9	19
9	10	11	12	13	14	15	16	20
	17	18	19	20	21	22	23	21
	24	25	26	27	28	29	30	22

		í	发		其	月		週
	日	月	火	水	木	金	土	数
	1	2	3	4	5	6	7	23
	8	9	10	11	12	13	14	24
10	15	16	17	18	19	20	21	25
	22	23	24	25	26	27	28	26
	29	30	31	1	2	3	4	27
	5	6	7	8	9	10	11	28
11	12	13	14	15	16	17	18	29
l ' '	19	20	21	22	23	24	25	30
	26	27	28	29	30	1	2	31
	3	4	5	6	7	8	9	32
	10	11	12	13	14	15	16	33
12	17	18	19	20	21	22	23	34
	24	25	26	27	28	29	30	
	31	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	3 5
1	14	15	16	17	18	19	20	36
l '	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	試験
2	11	12	13	14	15	16	17	験期
_	18	19	20	21	22	23	24	間
	25	26	27	28	29	1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
3	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

備考

臨床実習Iの期間

未定 未定 未定 臨床統合試験(進級試験) 臨床統合試験(進級試験)(再試験) 臨床実習Ⅱ希望調査説明会 $\mathop{\diamondsuit}_{\mathop{\diamondsuit}}$

高度 Advance d 医師と同等のレベルであること	年				_	-				44							***				4年	5年	6年
応用 Applied B スチューデントドクター相当の医学生として 模擬的に関与、行動できる		法医	ル社・会	皮膚	鼻咽	産 科	臨床	臨床	臨床	免 疫	老年	麻酔	救急	療	В	臨床	地域	床	床	麻床	麻床	床	臨床
C 基盤となる能力を習得していること	- 科	学	実医 習学 チ	科 学	喉	学	長	感染症	癌学	アレ	医 学	科 学	医 学	情 報 学	L チュ	実 習 入	療体	地域医	医 学 特	実習前	実 習 I	実 習 I	実 習 Ⅱ
基盤 Basic D 基盤となる知識を習得していること	- 目 名		۶ ا		頸		· 発 達	学	7	レルギ				+	1 -	門	験	療学	論	Ø	4	5.	ш
公除、翌年まる#今日もまれ、単仏辺ウに	-		- 		部外科		学			ì					リア			,		建	年	年	
E 関係ない	206		ア		学										ル					度			
F 経験・習得する機会がない	位	1	2.5	1	1	1.5	3	1.5	0.5	1	0.5	1	1	1	3	4	1	0.5	1.5		5	30	18
倫理・プロフェッショナリズム 任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づし	<u>ハて行</u>	動できる	0																				
者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる 涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続け 原の倫理なよびた合金理な思想して、第20に行動するは、	けるため	りに、内多	能的動機	による自	己学習能	も力を持ち	ち、応用で	できる。															
医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または できる。 利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に?		D	С	C	С	С	C	C	С	С	С	C	С	С	E	В	С	С	С	В	В	В	В
または判断できる。 患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守する		E C	E B	E F	E F	E F	E F	E F	E C	E F	E F	E F	E C	С	E F	В	E C	E C	C	В	B A	B A	B A
ができる。 患者中心の医療について理解し、実践できる。		E	С	F	F	F	F	F	E	F	E	F	E	С	F	В	С	С	С	В	В	В	В
内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識 能、態度を維持向上することができる。		F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	F	В	F	С	С	В	В	В	В
社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師 明確にすることができる。 社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることがで		F	С	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	F	В	С	С	С	В	В	В	В
はありたいと来たすため、自横 とさるけ刻をとることがでる。 ある。 患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受		F	С	F	F	F	F	F F	E	F F	E	F F	E	С	F	В	С	С	С	В	В	В	В
れることができる。 同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技能を教える: **********	って	E	С	E	E	E	E	E	E	E	C E	E	C E	С	E	В	С	C E	C E	В	В	В	A B
共有できる。 様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリフ ついて考えることができる。	アに	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	С	E	В	E	E	E	В	В	В	В
コミュニケーション いやりの心や共感的理解力といったヒューマンコミュニケー	-:/=:/	がったり	記載4017	聖得して	医療租	提集では	田できる			1													
ま者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミ 報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活	ュニケー	ーションし	たりする	能力を	実践的に	習得して	、医療現	。 場等で応	用できる	· o													
患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係 くことができる。	を築	F	В	F	F	F	F	F	Е	F	F	F	D	С	F	В	В	С	С	В	Α	Α	Α
医療チームのメンバーとコミュニケーション通じて、連携を ことができる。 聴覚障害者などの障害者と手話等でコミュニケーションを、		F	С	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	С	Е	В	С	F	D	В	В	В	В
聴覚障害者などの障害者と手詰等でコミュニケーションを て、円滑な診療をサポートすることができる。 地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係		F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	F	В	F	F	F	В	В	В	Α
地域フィールトの中で、地域住民、行政関係者、医療関係 とコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係 くことができる。		F	В	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	F	В	В	С	С	В	В	В	В
安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーシ を取ったり、情報を収集したりできる。	ノヨン	F	С	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	Е	С	С	С	D	С	В	В	В
チーム医療 の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う	う能力!	-ا.+طرط ا	医師とし	てリーダ	ーシップ	を発揮し	てチー ハ	ビルディ	ングする	能力を習	得する。												
医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連絡を ことができる。		F	В	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	С	F	С	F	F	F	В	В	В	В
ことができる。 他の医療専門職を目指す学生と交流し、それぞれに異なり 値観があることを認識し、受け容れることができる。	る価	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	С	F	С	F	F	F	С	Α	Α	Α
他の医療専門職との連携を実践できる。		F	С	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	С	F	С	С	F	D	С	В	В	В
医学の知識 新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を	習得し	て、応用	できる。																				
療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。 物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解 用できる。	に応	D	F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	С	Е	В	D	D	D	В	В	В	В
人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を習得し 病態の理解に応用できる。		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	С	В	В	D	D	В	В	В	В
人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用る。		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	С	В	В	D	D	В	В	В	В
診療に関わる基本的知識と技能を習得して、臨床実習に 応用できる。 ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づ		F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	D	В	В	D	D	В	В	В	В
療(EBM)を実践できる。 疫学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性	- (こ関	E D	D B	E F	E F	E F	E F	E	E	E E	E D	E	E D	С	C F	В	В	E D	D D	В	В	В	В
する知識を習得して、地域で応用できる。 医療安全の知識を習得して、患者や医療従事者に起こる 上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。	医療	D	С	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	F	В	E	D	D	В	В	В	A
主の争成及び国際関連記来派と同じてこれできる。 診療の実践 療に必要な症候・病態について理解するとともに、基本的	た診療	生の総と形	海共能力	田ハイ	库癌而 按	5 to 1 7 f fi	1.休於察	を行しる	早らわたも	害婦なより	-1-阪庄:	冷断を行	1、 治療	計画を立	安するこ	レができ	· Z				-		
合的診療および全人的医療の能力を習得し、実践できる。 早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践	,	F																-	-	_	-	-	-
示すことができる。 適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる		F	E	E F	E F	E F	E	E F	E F	E F	E F	E F	E D	D D	E F	В	E B	E C	E C	В	B B	В	В
身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をと 病状を判断できる。		F	С	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	D	E	В	В	С	С	В	В	В	В
病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結 解釈できる。		F	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	D	D	С	В	В	С	С	В	В	В	В
病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論	손17	F	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	D	D	С	В	В	С	С	В	В	В	В
い、疾患を診断することができる。	-+		_	-	_	-						С	D	D	С	В	B E	C F	C F	B B	В	B	B
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。	_	F C	C	C	C	C	C F	C	C F	C F	C		F	D			1				_		В
い、疾患を診断することができる。		C E	C E C	C F F	C F	C F F	F F	F F	F C	F F	F	F	F D	D D	F	В	В	С	С	В	В	В	
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。		С	Е	F	F	F	F	F	F	F	F	F					B F	C F	C F	B B	ВВ	В	В
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知的探究と創造性 に知的探究のを持ち、基礎と臨床の連携で消養されるリサ		C E F	E C F	F F	F F	F F	F F	F F	F C F	F F	F F	F F	D	D	F	В							В
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。 知的探究と創造性 に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で洒養されるリサ パーションの重性を理解して、実践できる。 医学、科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解である。	ナーチマ	C E F	E C F	F F	F F	F F	F F	F F	F C F	F F	F F	F F	D	D	F	В							В
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。 知的探究と創造性 に知的探究とのを持ち、基礎と臨床の連携で消費されるリサ パーションの重要性を理解して、実践できる。 医学、科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学の科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に 組むことができる。	ナーチマ . 重要 取り	C E F	E C F	F F F	F F F	F F F 的に医学	F F F	F F F 応用でき	F C F	F F	F F	F F	D F	D D	F	ВВ	F	F	F	В	В	В	
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知的探究と創造性 に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で洒養されるリサ パーションの要性を理解して、実践できる。 医学、科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学、科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に 組むことができる。 データを解析し、議理的に発表・計論してプレゼンテーショ きる。	ナーチマ 東要取り	C E F マインドを E F	E C F S身につけ C C	F F F おととも E F	F F F に、実践 E F	F F F 的に医学	F F F 学研究にが E F	F F F 応用でき E F	F C F る。 E F	F F F	F F F	F F F	D F E F F	D D	F C E E C	B B	C F F	E F	F C	В	В	В	В
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床楽習の成果を発表、討議できる。 力ンファレンスなどで臨床楽習の成果を発表、討議できる。 に如的探索心を持ち、基礎と臨床の連携で消費されるリサ パー・ションの重要性を理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が社会に買放している実情を知り、 医学科学研究の原果が社会に買放している実情を知り、 医学的、科学的ご意義のある研究課題を見出し、研究に 組むことができる。 データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーショ きる。 臨床的に悪意のある研究課題を見出し、トランスレーショ:	ナーチマ 東 取り	C E F マインドを E F F	E C F G C C C B	F F F F E F F	F F F C、実践 E F F	F F F 的に医学 E F F	F F F 学研究に E F F	F F F 応用でき E F F	F C F F F F	F F F F F	F F F E F F	F F F E F F	D F F F F	D D D D D	F C E E E	B B B F B	F C F F	F F F	F C F D C	B B B B	B B B B	B B B B	B B B
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知の探究と制造性 に知的探究とも特ち、基礎と臨床の連携で消費されるリサ パイーションの重要性を理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学科 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学科 科学研究の様果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 データを解析し、語理的に発表・計論してプレゼンテーショ きる。 臨床的に意義のある研究課題を見出し、・サンスレーショ: リサーチの可能性について探索できる。 第途性費が反應人ななる基礎を身につけ、診療や底・ 窓に応用できる。 完にな用できる。	ナーチマ 東 取り コンで ナル 学研	C E F マインドを E F F	E C F F C C C B E	F F F F F F E	F F F E F F	F F F sh(C医学	F F F F E F F E	F F F 応用でき E F F	F C F F F E	F F F F F	F F F F F E	F F F E F F	D F E F F E	D D D D F	F C E E F	B B B F B	F C F F F	E F F F	F C F D C C	B B B C	B B B B B	B B B B	B B B
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療線や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床業習の成果を発表、計議できる。 知的探究と創造性 に知的探究と創造性 医学、科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 データを解析し、議理的に発表・討論してプレゼンテーショ きる。 臨床的に悪震のある研究課題を見出し、サランスレーショ・ ジリナーチの可能性について探索できる。 別談性をかえば最大なるる機能を身につけて、診療や医・ 気にあれてきる。 デによりる。	ナーチマ・東切りコンでナル学研実践	C E F マインドを E F F F	E C F C C C B E F	F F F F E F F	F F F C、実践 E F F	F F F 的に医学 E F F	F F F 学研究に E F F	F F F 応用でき E F F	F C F F F F	F F F F F	F F F E F F	F F F E F F	D F F F F	D D D D D	F C E E E	B B B F B	F C F F	F F F	F C F D C	B B B B	B B B B	B B B B	B B B
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文養を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。 知的探究と創造性 に知的探究のを持ち、基礎と臨床の連携で消養されるリサ /イー・ションの重要性を理解して、実践できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 データを解れ、護理的に発表・計論してブレゼンテーショ きる。 師体的に意義のある研究課題を見出し、特ツスレーショ・ リサーチの可能性について提案できる。 原注性要が成業成人となる基礎を身につけて、診療や医・ 完成に対する明の重要性を理解して、イノベーションを3 できる。 原性について提案できる。 完成に対する明の重要性を理解して、イノベーションを3 できる。 原性について提案できる。 完成における発明の重要性を理解して、イノベーションを3 できる。 国際性	ナーチマ・東切りコンでナル学研実践	C E F マインドを E F F F F	E C F C C C B E F	F F F E F F E E	F F F に、実践 E F F E	F F S S S S S S S S S S S S S S S S S S	F F F F F F F F E	F F F 応用でき E F F E	F C F F F E E E	F F F F F E	F F F F F E	F F F F F E	D E F F E E	D D D D F F	F C E E F F	B B B F B F	F F F F	E F F E	F C C C C	B B B B C	B B B B B	B B B B E	B B B E
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 がフラレンスなどで臨床楽習の成果を発表、計議できる。 知的探究と制造性 に知的探究と制造性 に知的探究と制造性 に知り探究のを持ち、基礎と臨床の連携で消費されるリウ パペーションの重要性理解して、実践できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 デーラを解析し、語理的に発表・計論してプレゼンテーショ きる。 施味的に蓄震のある研究課題を見出し、・ランスレーショ・ リケーチの可能性について提案できる。 第2年後期できる。 データを解析し、語理的に発表・計論してプレゼンテーショ きる。 第3度に登かる場合の表の研究課題を見にし、・ランスレーショ・ リケーチの可能性について提案できる。 第3度にある。 第	ナーチマ 東 取り コンで ナル 学 選 て、応月	C E F マインドを E F F F F	E C F C C B E F	F F F E F F E E	F F F C、実践 F F F E	F F ONICES	F F F F F F F E	F F F を用でき F F F E	F C F F F E E F	F F F F F E	F F F F F E	F F F F F E E	D F F F E E F	D D D F F	F C C E F F	B B B F F	F F F F	F F F E	F C C C C	B B B C C	B B B B E E	B B B B E E	B B B E E
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンフトレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知の探究と創造性 に知的探究と自治性 医学・項字が死の成果が社会に貢献している実情を知り、 はを理解して、実践できる。 医学・項字が死の成果が社会に貢献している実情を知り、 はを理解できる。 医学・科学が同じ悪義のある研究課題を見出し、研究に同 域むことができる。 臨床的に意義のある研究課題を見出し、研究に同 域むことができる。 臨床的に意義のある研究課題を見出し、デンスレーショ: リリー・チウの服性について複変できる。 高遠性豊かな医療となる基礎を身につけて、診療や医 変に応用できる。 医療における条明の重要性を理解して、イパペーションを3 国際性 ローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、 英語を問題語とする人と対話ができる。	ナーチマ 東 取り コンで ナル 学 選 て、応月	C E F マインドを E F F F F	E C F C C C B E F	F F F E F F E E	F F F に、実践 E F F E	F F S S S S S S S S S S S S S S S S S S	F F F F F F F F E	F F F 応用でき E F F E	F C F F F E E E	F F F F F E	F F F F F E	F F F F F E	D E F F E E	D D D D F F	F C E E F F	B B B F B F	F F F F	E F F E	F C C C C	B B B B C	B B B B B	B B B B E	B B B E
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文書を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知的探究と創造性 に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で洒養されるリサ パイーションの重要性理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 はを理解できる。 デーラを解析し、語理的に発表・討論してプレゼンテーショ きる。 記版に手報のある研究課題を見出し、研究に耳 組むことができる。 大きないではまれる。 が関係していて提案できる。 の事性 ローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけてきる。 国際性 ローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて 英語を問題話とする人と対話ができる。 国際内な現底で医学研究の情報を収集し、議論して発信 もの。 といるというない。 国際のな現底で医学研究の情報を収集し、議論して発信 もの。 というない。 国際のな現底で医学研究の情報を収集し、議論して発信 もの。 というない。 国際のな現底で医学研究の情報を収集し、議論して発信 もの。 といるというない。 というない。 というなどのできる。 といるというない。 といるというない。 といるといるというない。 といるといるといるというない。 といるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	ナーチマ 東 取り コンで ナル 学 選 て、応月	C E F F F F F F F F	E C F C C B E F F	F F F F F F E E	F F F C、実践 E F F E	F F F ONICES	F F F F F F E E	F F F E F F E E	F C F F F E E F F F F F F F F F F F F F	F F F F F E	F F F F E E	F F F F F E E	E F F E E	D D D D F F F D	F C E F F F E	B B B F F F	F F F F F	E F F E E	F C F C C C F	B B B C C C	B B B B E E E B	B B B B E E	B B B E E
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 締状説明や患者教育に参加できる。 赤状説明や患者教育に参加できる。 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、計議できる。 知的探究と創造性 に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で洒養されるリウ パー・ションの重要性を理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が私生貢献している実情を知り、 性を理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が私生貢献している実情を知り、 性を理解して、実践できる。 医学的、科学所に、悪傷のある研究課題を見出し、研究に即 划むことができる。 一・データを解析し、静理的に発表・計論してフレゼンテーショ リサーチの可能性について態をできる。 国際におよびを発表したなる基礎を身につけて、診療や医学 変に応用できる。 医療における発明の重要性を理解して、イパペーションを3 国際性 ローバル化に対応できる結学能力と国際感覚を身につけ 美語を母園語とする人と対話ができる。 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信 診療 美会話を習得して、実践できる。 国際のな視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信 を療 美話を習得して、実践できる。 国際のな視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信 を療 美話を習得して、実践できる。 国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。 地域医療	ナーチマ 東 取り ア でき したうえ	C E F F F F F F F F F F F F	E C F C C C B E F F F	F F F F F F E E F F	F F F F F F E E E	F F F SOICES	F F F F F F E E	F F F F E F F E E	F C C F F F F E E F F F E E	F F F F F E	F F F F E E	F F F F F E E	E F E E F F E	D D D D F F F D F	E E F F E E E	B B B F F F	F F F F F	E F F E E	F C F D C C F F E	B B B C C C	B B B B E E E B B E	B B B B E E	B B B E E
い、疾患を診断することができる。 適切な治療計画を立案することができる。 診療録や医療文養を適切に作成できる。 病状説明や患者教育に参加できる。 カンフレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。 知的探究と創造性 に知的探究人を持ち、基礎と臨床の連携で測費されるリウ パーションの重要性を理解して、実践できる。 医学 科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解して、実践できる。 医学の子科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、 性を理解できる。 医学の子科学研究の展別が社会に貢献している実情を知り、 地を見かできる。 臨床的に悪義のある研究課題を見出し、研究に同 地でしたいてきる。 臨床的に悪義のある研究課題を見出し、特プスレーショ: リサーチの可能性について確定できる。 国際性 ローバル化に対応できる話学能力と国際感覚を身につけて、診療や医 気にあれずる希明の重要性を理解して、イ/ベーションを3 国際性 ローバル化に対応できる話学能力と国際感覚を身につけて 英語を問題とする人と対話ができる。 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信 る。 診療英会話を習得して、実践できる。	ナーチマ 東 取りで ナナザ でき て、応用	C E F F F F F F F F F F F F	E C F C C C B E F F F	F F F F F F E E F F	F F F F F F E E E	F F F SOICES	F F F F F F E E	F F F F E F F E E	F C C F F F F E E F F F E E	F F F F F E	F F F F E E	F F F F F E E	E F E E F F E	D D D D F F F D F	E E F F E E E	B B B F F F	F F F F F	E F F E E	F C F D C C F F E	B B B C C C	B B B B E E E B B E	B B B B E E	B B B E E

医学科5年次目次

5年次通年

区分	授業科目名	
必修 専門科目	臨床実習 I	6

※臨床実習 I・II については、オリエンテーションで配布する手引を参照してください。

授業のレベルについて

- 1:入門及び初級レベル
- 2:中級レベル(基礎科目)
- 3:中級~上級レベル(応用科目)
- 4:上級レベル(発展科目)
- 5:大学院レベル

臨床実習I

科目到達目標: 患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。 患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ。

基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。 基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ。

基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ。

基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ。

診療チームの一員として救急医療に参加する。

地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ。

科目責任者:植木 腎(学部教育支援室長)

連絡先: 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座 • 分野 • 診療科	予習•復習内容	授業のキーワード
1~36週		「クリニカルク ラークシップの 手引き」の各診 療科のページ を参照。	別途指示	対面	別途指示	第一内科診療科群、第二内科診療科群、第三内科診療科群、精神科、小児科、第一外科診療科群、心臓血管外科、胸部外科診療科群、整形外科、泌尿器科、眼科、頭頸部診療科群、放射線診療科群、女性診療科群(産科婦人科)、救急科、神経内科、脳神経外科、の17診療科を各2週間ずつ、皮膚科、麻酔診療科群、血液内科(臨床検査医学)、脳神経小児科、病理診断科、感染症内科、地域医療の7診療科を各1週間ずつ、歯科口腔外科及び形成外科を併せて1週間の全42週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。	各診療科教員			「クリニカルクラー クシップの手引き」 の各診療科の

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:4

評価:全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。

実務経験との関連:現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。

その他:正当な理由なき欠席、遅刻、早退は1秒たりとも認められない。